
日本経済展望

2017年3月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

●総括	下田 裕介	(Tel: 03-6833-0914	Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
●企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ（現状分析）	伊藤 綾香	(Tel: 03-6833-6967	Mail: ito.tp24777@jri.co.jp)

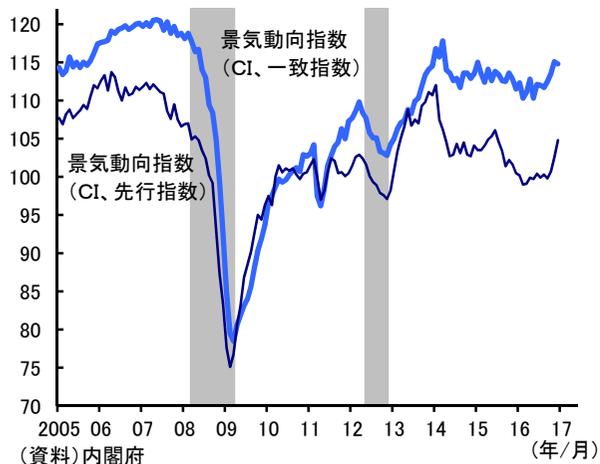
◆本資料は2017年3月3日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

概況：景気は緩やかに持ち直すものの、一部で伸び悩み

景気

株価の上昇や消費者マインドの改善を受け、先行指数は2015年6月以来の高水準

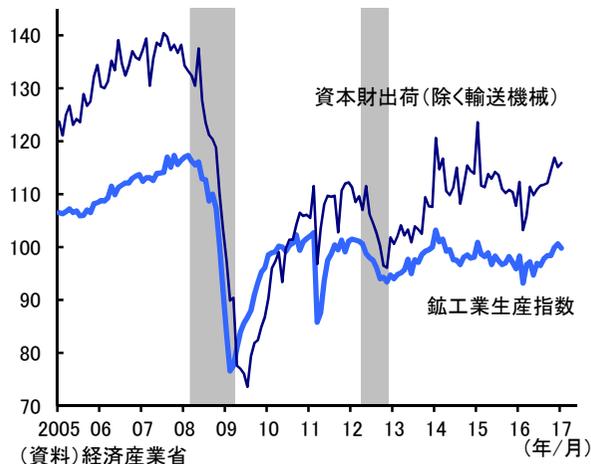
(2010年=100)



企業

生産指数は6ヵ月ぶりに低下
資本財出荷は増加基調

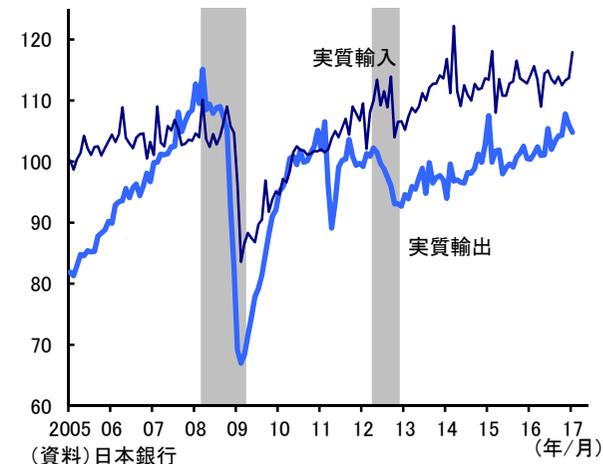
(2010年=100)



外需

輸出は米国向けが減少
輸入は2015年2月以来の高水準

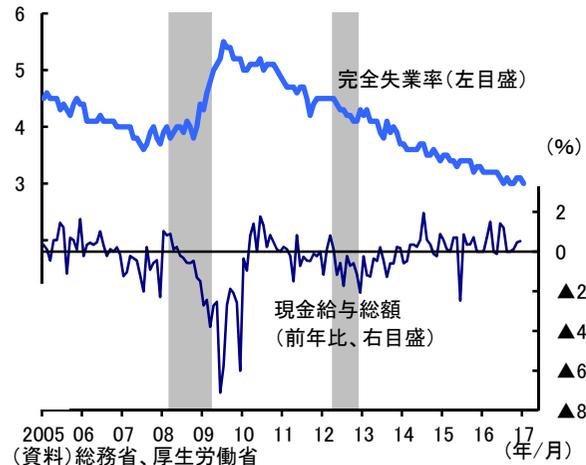
(2010年=100)



雇用所得

失業率は低水準で推移
名目賃金は所定内給与のプラスが持続

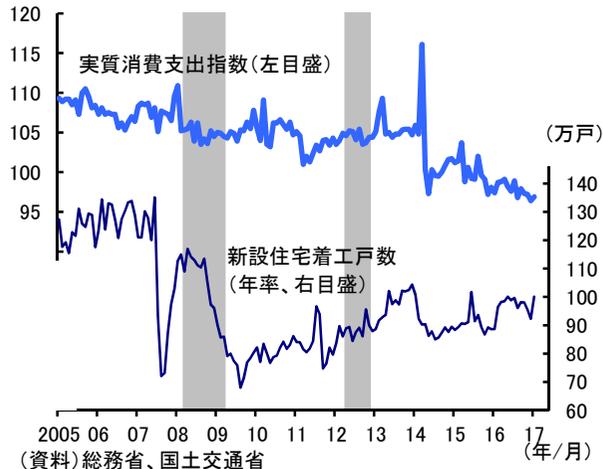
(%)



家計

消費は食品高騰で買い控えの動き
住宅着工は分譲マンションなどが押し上げ

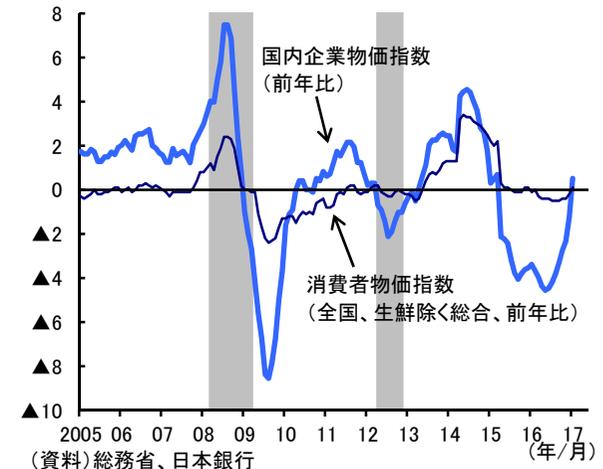
(2015年=100)



物価

企業物価は23ヵ月ぶり、消費者物価も13ヵ月ぶりに前年比プラスに転化

(%)



※シャドー一部は景気後退期

企業活動が持ち直す一方、家計部門は一進一退

◆景気は緩やかに持ち直し

わが国景気は、緩やかに持ち直し。2016年10～12月期の実質GDP（1次速報値）は、前期比年率+1.0%と4四半期連続のプラス成長。需要項目別にみると、外需では、輸入が財・サービスともに増加し、5四半期ぶりにマイナス寄与となったものの、輸出が、アジア向けの半導体製造装置や電子・通信機器で増加し、輸入を上回る高い伸びとなった結果、GDPを+0.2%ポイント押し上げ。設備投資も、ソフトウェアをはじめとする情報化関連投資などが増加し、2四半期ぶりにプラス。

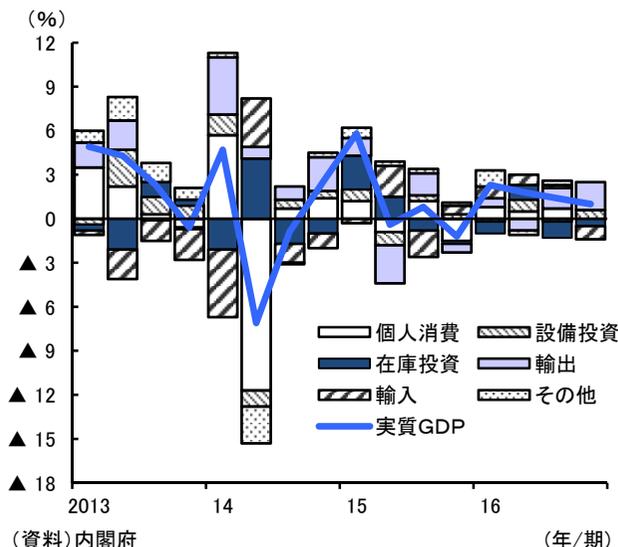
◆企業の生産活動は持ち直しが持続

企業活動をみると、鉱工業生産指数は、1月が前月比▲0.8%と6ヵ月ぶりに低下。もっとも、輸出の増加や在庫調整の一巡が下支えに作用しており、生産が昨年初めを底に回復基調にあるとの判断は変わらず。予測指数によると、3月は減産が見込まれるものの、均してみれば、概ね底堅い生産水準が続く見込み。

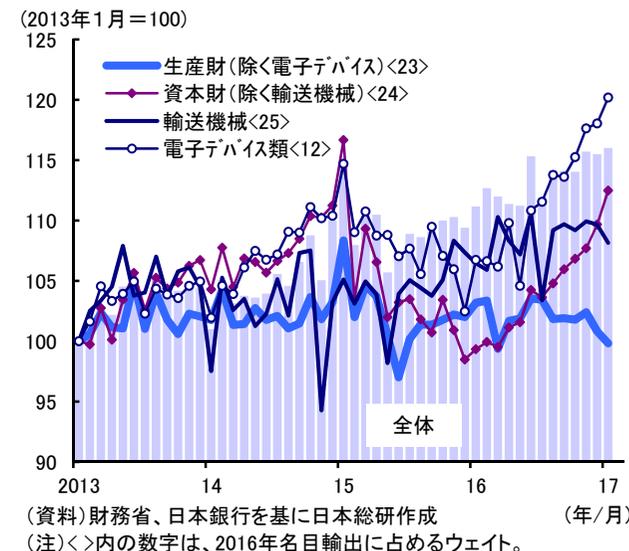
◆家計部門は一進一退の動き

一方、家計部門では、個人消費が一進一退の動き。1月の百貨店・スーパー販売額をみると、百貨店の主力商品である衣料品は、コートなどの季節商品が伸び悩んだものの、飲食料品は持ち直し、全体を下支え。

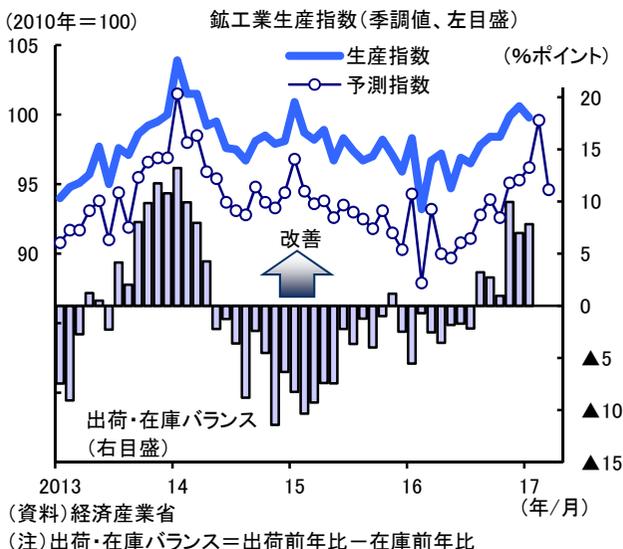
実質GDP成長率(前期比年率)



財別実質輸出(季調値)



鉱工業生産指数と出荷・在庫バランス



百貨店・スーパー販売額(季調値)



輸出は緩やかに持ち直すも、外需環境にはなお厳しさ

◆インバウンド需要が頭打ち

外需動向をみると、まず、インバウンド需要が頭打ち。2016年入り後の円高を受け、訪日客数は増勢が鈍化し、一人当たり消費額も大幅減。もっとも、昨年11月以降円安が進んだこと、アジア新興国の所得拡大が続くこと、宿泊施設増加など受け入れ環境の整備が進むこと、などから、インバウンド需要は今後も高水準を維持する見込み。

◆当面、財輸出の持ち直しは緩慢

財輸出では、昨年後半から世界の半導体出荷額が急増するなど、世界的なIT需要の回復から、電子部品・デバイス類の輸出増が顕著。スマートフォン需要のみならず、車載や産業機械向けなど電子部品・デバイス類の用途の拡大が背景。

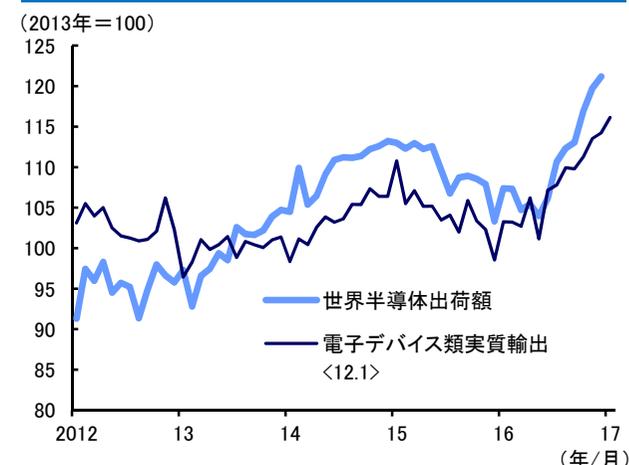
地域別にみると、政策効果などから景気が持ち直した中国・アジア新興国向けがけん引。米欧先進国でも景況感は改善傾向にあることから、先行き、輸出は増加傾向が続く見込み。

もっとも、製造拠点の海外移管の進展に伴い、海外需要の増加には海外生産で対応するケースが拡大していることから、増加ペースは緩やかなものとどまる見通し。米国トランプ政権が通商政策において保護主義を鮮明にしていることも懸念材料。

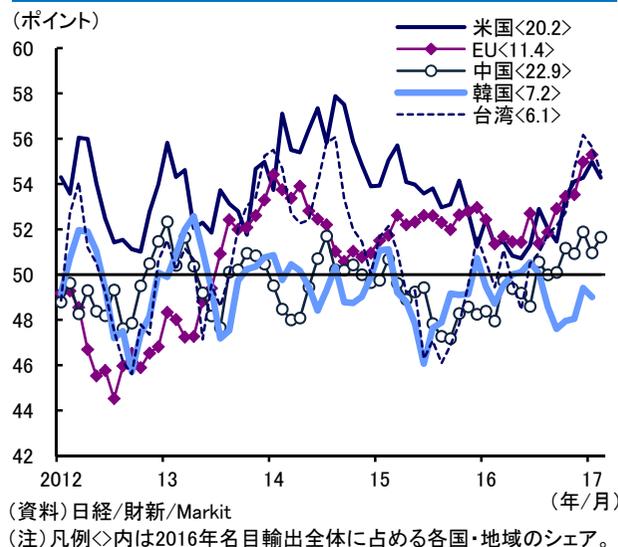
訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



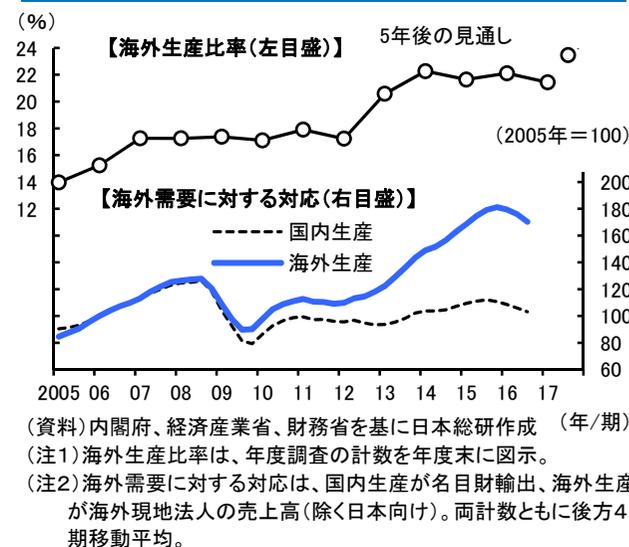
世界半導体出荷額と電子デバイス類実質輸出



上位輸出相手国の製造業PMI



海外生産比率と海外需要への対応



企業収益・設備投資には底堅さ

◆企業収益には底堅さ

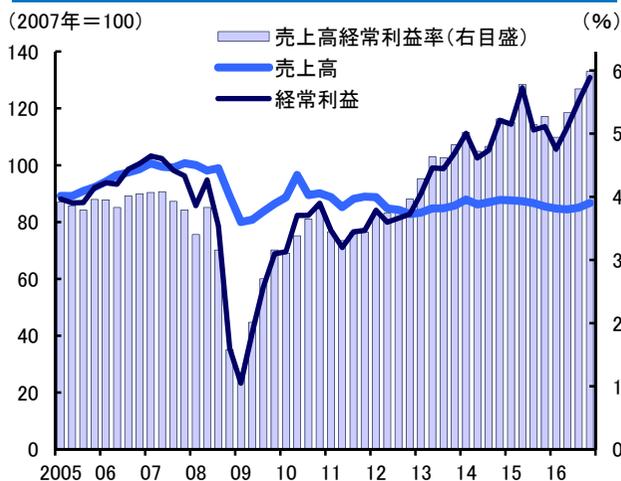
企業収益についてみると、2016年10～12月期の法人企業統計では、前期比で2四半期連続の増収増益。売上高は、輸出の持ち直しなどを背景に底打ち。一方、経常利益は、売上高の増加と、人件費の伸び抑制などを背景に、四半期ベースで過去最高益を更新。個人消費が伸び悩むなか、売上高の力強い伸びは期待しにくいものの、企業の経営体質は引き続き良好。足許の実勢為替レートが、企業の想定為替レート対比で円安水準にあることも勘案すれば、企業収益は先行き堅調さを維持する見込み。

◆雇用所得・設備投資は緩やかに回復

企業にとって、人手不足感は依然として強く、非製造業を中心に雇用所得環境は改善が続く見込み。

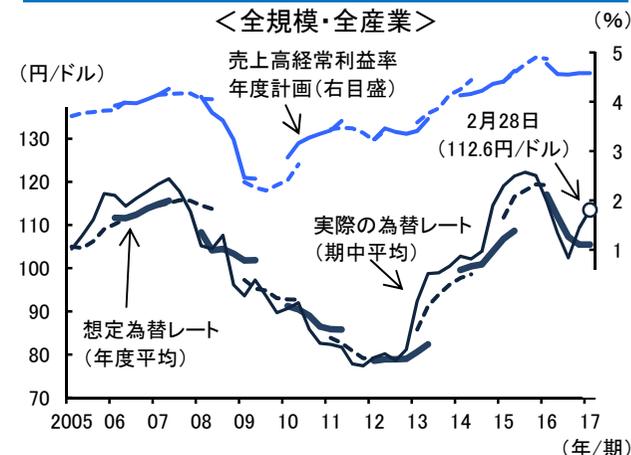
設備投資については、製造業の生産能力の削減ペースが緩慢で、稼働率が高まらず、企業の成長期待も高まらないなか、能力増強投資は伸び悩む見込み。もっとも、設備の老朽化などを背景に、維持・更新投資を進める企業は多く、これが下支え要因に。加えて、人手不足に伴う合理化・省力化投資、インバウンド関連産業の設備投資もプラスに作用。これらに支えられて、設備投資は緩やかに回復していく見通し。

法人企業の売上高と経常利益率(季調値)



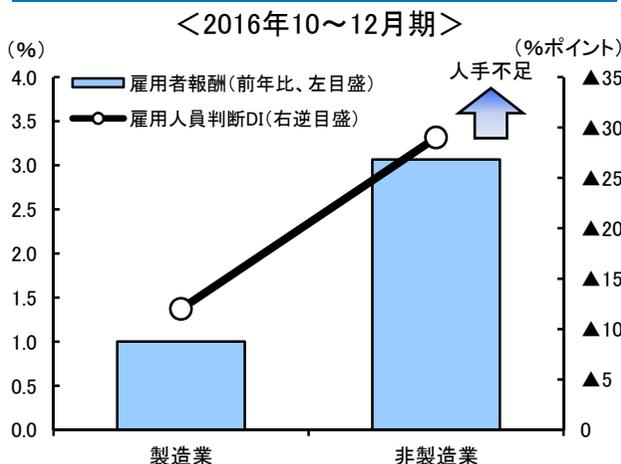
(資料)財務省
(注)金融業・保険業除く、全規模・全産業。

売上高経常利益率計画と想定為替レート



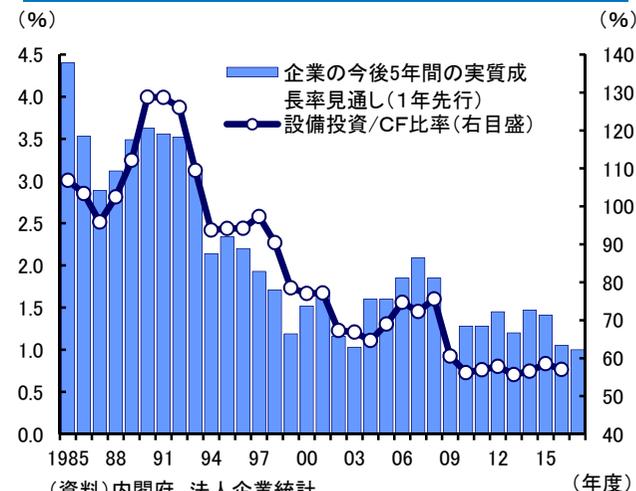
(資料)日本銀行
(注)売上高経常利益率年度計画と想定為替レートは、3月調査→6月調査→9月調査→12月調査→実績見込み→実績の順に各年度をプロット。2016年Q4、2017年Q1は、16年12月調査を図示。

雇用者報酬増加率と人手不足感



(資料)日本銀行「短観」、厚生労働省「毎月勤労統計」を基に日本総研作成
(注)雇用者報酬は、現金給与総額指数×常用雇用指数。

期待成長率と設備投資/キャッシュフロー比率



(資料)内閣府、法人企業統計
(注)成長率見通しの調査時期は1月(2016年度調査は17年1月)。16年度の設備投資/キャッシュフロー比率は4～12月期。

可処分所得の伸び悩みが消費を抑制

◆個人消費は低迷が長期化

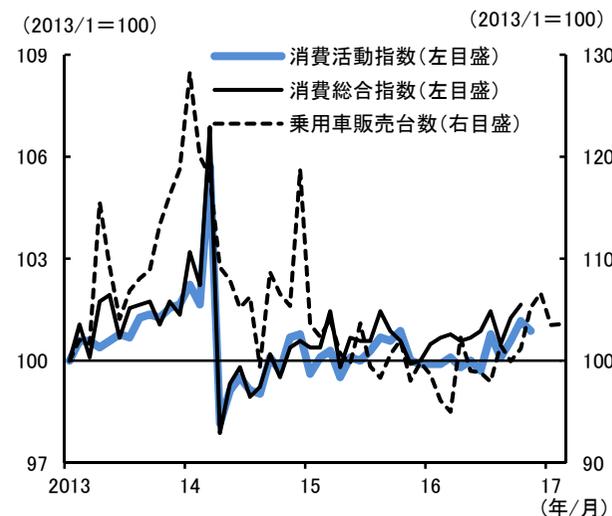
個人消費は低空飛行が持続。乗用車、家電等の耐久財、外食等のサービスに持ち直しの動きがみられるものの、力強さに欠ける状況。非耐久財でも、消費増税前後から新製品投入で売り上げ確保を図る動きが奏功してきたものの、2016年度にはこの効果が薄れる動き。

消費低迷の背景には可処分所得の伸び悩み。雇用環境は改善が続いているものの、企業は、依然、人件費増加に慎重な姿勢。さらに、社会保険料等の増加が可処分所得の下押しに作用。将来的な一層の負担増に対する生活防衛意識の高まりも消費を下押ししている可能性。特に将来不安が強い若年層で消費性向の低下傾向が鮮明に。

◆引き続き緩慢な消費回復

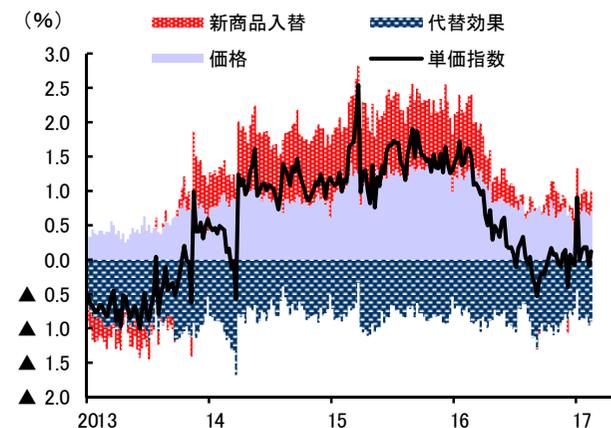
先行きを展望すると、人手不足を背景に雇用環境の改善は続く見込み。もっとも、海外経済等の先行き不透明感の高まりをにらみ、今春闘の賃金上昇率を前年並みに抑える企業が増えるなか、賃金の上昇加速は期待薄。社会保険料負担等の増加や人口減少の影響が集中している自営業主等の減少も可処分所得の下押しに作用。加えて、エネルギー価格上昇と2016年末以降の円安により、消費者物価が前年比プラスに転じ、家計の実質購買力の下押し圧力が高まる見込み。実質所得の改善が鈍いなか、引き続き個人消費は緩やかな増加にとどまる見通し。

消費関連指標



(資料)日銀、内閣府、自販連

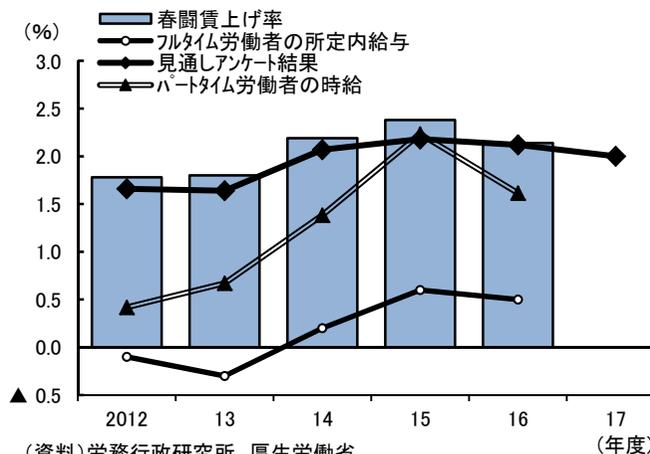
消費者購買単価指数(前年比)



(資料)一橋大学消費者購買単価指数

(注)価格は継続商品の価格変化(物価変動に相当)、代替効果は継続商品内で割安商品の販売が伸びる効果。新商品入替は、継続商品より高い新商品導入と低い商品退出の影響。

春闘賃上げ率と賃金上昇率

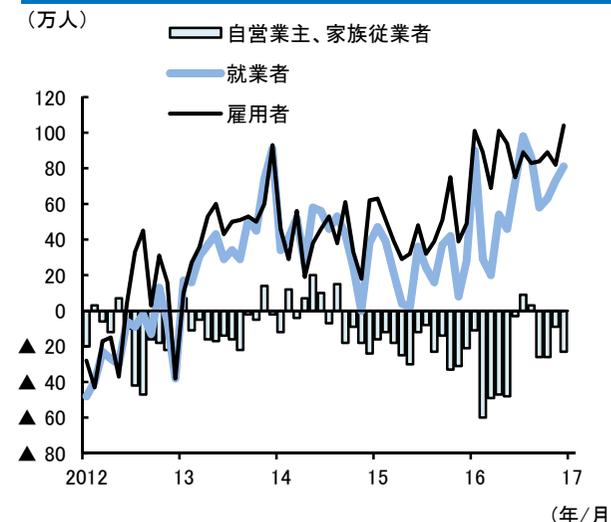


(資料)労務行政研究所、厚生労働省

(注1)2016年度の所定内給与とパート時給は4~12月。

(注2)見通しアンケートは東証1部・2部上場企業労働側と経営側、および専門家を対象に12月半ば~1月半ばに実施。

就業者数(前年差)



(資料)総務省

経済対策による17年度の成長率押し上げは+0.3%ポイント

◆公共投資中心の経済対策

政府は、2016年8月に事業規模28兆円超の経済対策を閣議決定。11月には、財源の裏付けとなる2016年度第2次補正予算が成立。内訳をみると、「21世紀型のインフラ整備」や「熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化」などの金額が大きいことから、公共投資の増加が景気を一定程度押し上げると期待。

◆景気押し上げ効果には不透明な面も

もともと、こうした施策は、大幅な景気押し上げにつながらない可能性。まず、経済対策に含まれる家計支援策については規模が小さく、将来不安の強まりが個人消費の抑制に作用するなか、消費押し上げ効果は限定的となる公算。一方、ウェイトの大きい公共事業については、都心部の再開発といった民間の投資案件の増加を背景に建設労働者の不足感が根強いなか、進捗が遅れる恐れ。

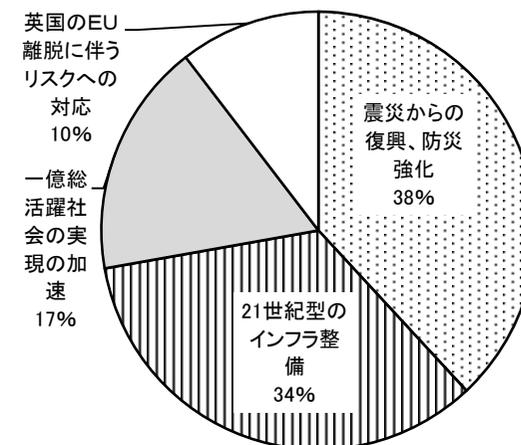
こうした点を踏まえ、経済対策による景気押し上げ効果を試算すると、2016年度、2017年度の成長率をそれぞれ、+0.1%ポイント、+0.3%ポイント押し上げる見込み。

2016年8月に閣議決定された経済対策の概要

一億総活躍社会の実現の加速(事業規模:3.5兆円)	
保育・介護の受け皿整備、保育・介護士の処遇改善 雇用保険料の時限的な引き下げ 簡素な給付措置(低所得者向けの現金給付)	うち国・地方の 財政支出 (2.5兆円)
21世紀型のインフラ整備(事業規模:10.7兆円)	
観光インフラの整備(港湾や空港機能の強化) 農林水産物の輸出基地・輸出対応型施設の整備 リニア中央新幹線・整備新幹線の整備加速	うち国・地方の 財政支出 (1.7兆円)
英国のEU離脱に伴うリスクへの対応(事業規模:10.9兆円)	
中小企業・小規模事業者の資金繰り支援 地方創生推進交付金の創設	うち国・地方の 財政支出 (0.6兆円)
熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化 (事業規模:3.0兆円)	
熊本地震・東日本大震災からの復旧・復興 公共インフラなどの耐震化・老朽化対策	うち国・地方の 財政支出 (2.7兆円)

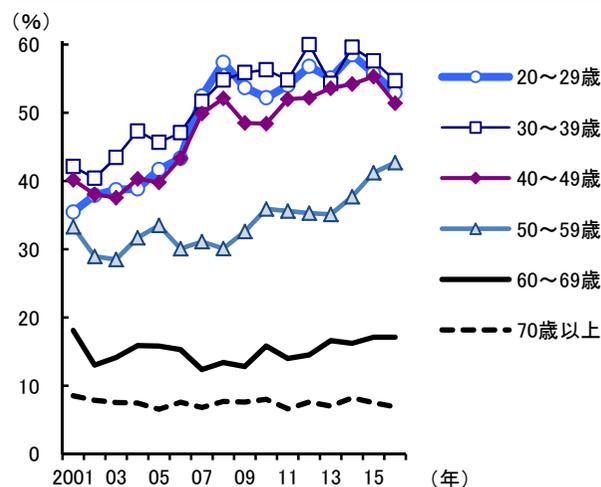
(資料)内閣府を基に日本総研作成

2016年度第2次補正予算の歳出シェア



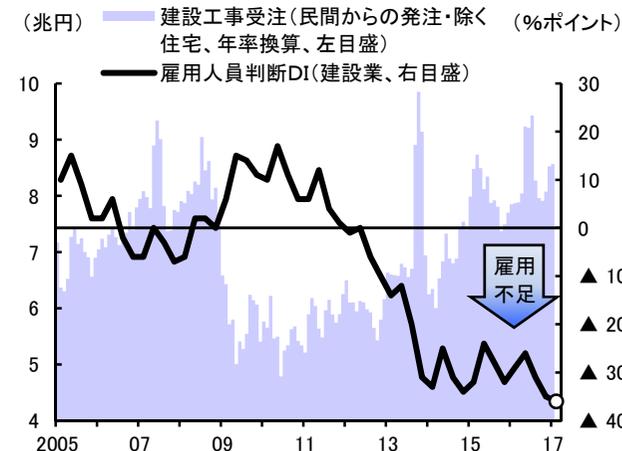
(資料)財務省を基に日本総研作成
(注)既定予算の減額を除く4.1兆円に占めるシェア。

「貯蓄や投資など将来に備える」と答えた割合



(資料)内閣府「国民生活に関する世論調査」
(注)2016年の20~29歳は、18~29歳に調査対象が変更。

建設業の人手不足と民間からの建設工事受注



(資料)国土交通省、日本銀行を基に日本総研作成
(注1)雇用人員判断DIの直近は、2016年12月調査の先行き。
(注2)建設工事受注は、後方3ヵ月移動平均。

米新政権はわが国経済にプラス効果も、過度の期待は禁物

◆積極財政で米国景気は浮揚

米国のトランプ政権の政策運営は依然不透明ながら、減税策やインフラ投資が公約より規模は縮小しつつも実施されることで、米国経済の成長ペースは2017年後半から加速する見込み。マーケットでも、緩やかな株高・金利上昇の動きが継続。この結果、わが国でも輸出企業の収益増などを通じたプラス影響が期待可能。

もっとも、わが国企業の米国での現地生産が拡大していることから、輸出が大幅に増加する公算は小。また、米国に比べて株高による資産効果が小さいことから、個人消費の浮揚効果も小幅。これらを勘案すれば、米国景気上振れによるプラス効果は限定的となる見通し。

◆政策運営次第では大きなリスク

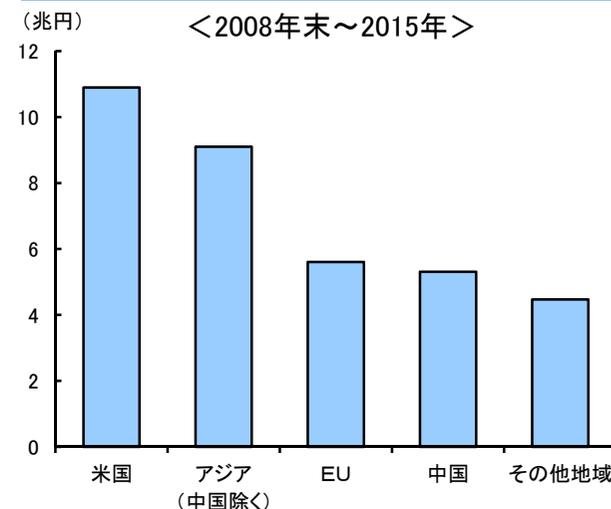
さらに、トランプ政権が、選挙戦で示した保護主義的な貿易政策やドル安志向を強く打ち出し始めていることが懸念材料。2月28日の初の議会演説は、比較的穏健な内容となったものの、引き続き米国第一、保護主義的な姿勢を堅持。今後、予算教書演説などで、一段と保護主義的な姿勢が強まれば、大幅な円高が進行し、輸出や企業収益の減少を通じ、わが国景気にもマイナス影響を及ぼすリスク。

トランプ氏が掲げる主な経済政策

	政策内容
法人税	・法人税率を35%から15%に引き下げ ・海外利益の米国内に還流時の課税は10%
所得税	・税率区分を7から3に簡素化、全区分で減税 ・育児や介護費用を税額控除
インフラ投資	・10年で1兆ドル
金融	・ドッド=フランク法全廃
環境	・パリ協定脱退 ・環境規制撤廃 ・キーストーンパイプライン建設を承認
医療	・オバマケア廃止
貿易	・TPP反対 ・NAFTA再交渉
為替	・中国を為替操作国に認定

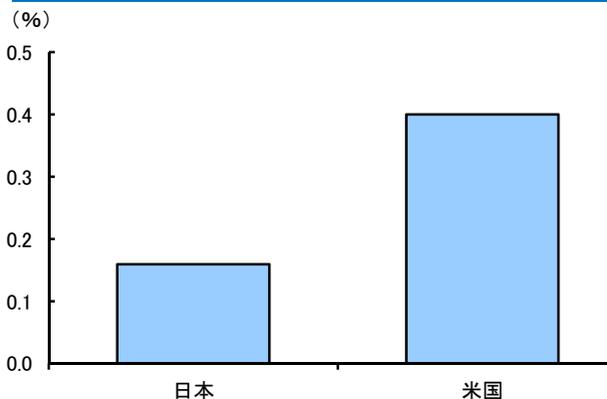
(資料)各種報道を基に日本総研作成

製造業の直接投資残高の増加幅



(資料)日本銀行「国際収支統計」

10%の株高による消費押し上げ効果



(資料)内閣府、BEAなどを基に日本総研作成

(注1)日本は、雇用者報酬、日経平均株価、高齢化比率を説明変数とした消費関数を推計。

(注2)米国は、可処分所得、NYダウ、住宅価格などを説明変数とした消費関数を推計。

10円/ドルの円高の2017年度企業収益への影響

	輸出を通過した影響	海外からの受取収益を通過した影響	合計 (億円)	増減率 (%)
合計	10,736	▲ 23,179	▲ 12,444	▲ 1.8
製造業	7,356	▲ 19,184	▲ 11,828	▲ 5.7
素材業種	7,707	▲ 2,990	4,717	7.6
加工業種	▲ 350	▲ 16,194	▲ 16,545	▲ 11.4
非製造業	3,379	▲ 3,995	▲ 616	▲ 0.1
電気・ガス	2,600	▲ 13	2,587	60.4
その他	779	▲ 3,982	▲ 3,203	▲ 0.7

(資料)財務省、総務省などを基に日本総研作成

(注1)マクロモデル・シミュレーションの結果などを基に試算。

(注2)為替レートが輸出数量に与える影響が、近年低下していることを加味。

緩やかな景気回復基調が続く公算

◆年率1%台前半のプラス成長に

景気の先行きを展望すると、①円安に伴う企業収益の上振れや、②都心部での再開発や宿泊施設など非製造業の建設投資、③人手不足などを背景とした雇用所得環境の改善、が景気下支えに作用。経済対策に伴う公共投資の増加もプラスに作用するため、景気回復基調が続く見込み。

もともと、企業部門では、国内の過剰設備を背景に、製造業の設備投資に弾みがつき難い状況。家計部門でも、社会保険料負担の増加や、若年層を中心とした将来不安の強まりなどが消費下押しに作用する見込み。結果として、2016年度、2017年度の成長率は、+1%台前半の緩やかな成長ペースが続く見通し。

2018年度は、経済対策の押し上げ効果が一巡するものの、政府は景気失速を回避するため、新たな経済対策を策定する見込み。米国を中心とした海外経済の成長ペースの加速も輸出の下支えに作用することで、+1%程度の成長ペースを維持する公算。

わが国主要経済指標の予測値(2017年3月3日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

			2017年				2018年				2019年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	(実績)		(予測)									(実績)		(予測)	
実質GDP	1.4	1.0	1.2	1.5	1.3	0.9	0.9	1.1	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.3	1.1
個人消費	1.3	▲0.0	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7
住宅投資	9.9	0.7	▲4.9	▲5.6	▲4.1	▲2.4	0.3	0.5	0.6	0.8	1.0	2.7	6.0	▲2.8	▲0.1
設備投資	▲1.3	3.8	3.0	2.9	2.8	2.8	3.1	3.2	3.4	3.2	3.0	0.6	1.9	2.8	3.1
在庫投資 (寄与度)	(▲1.1)	(▲0.5)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(▲0.2)	(▲0.1)	(0.0)
政府消費	1.0	1.6	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	2.0	0.8	1.1	1.2
公共投資	▲2.9	▲6.9	5.8	14.7	8.3	▲2.7	▲4.6	▲2.1	1.6	0.4	▲1.2	▲2.0	▲1.8	4.5	▲1.0
純輸出 (寄与度)	(1.6)	(1.0)	(▲0.0)	(▲0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.6)	(0.2)	(0.1)
輸出	8.5	11.0	2.4	2.3	2.5	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	0.8	2.7	3.8	2.8
輸入	▲1.0	5.4	2.8	2.7	2.5	2.4	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	▲0.2	▲1.0	2.7	2.3

(前年比、%)

名目GDP	1.0	1.6	1.2	1.3	1.6	1.6	1.6	1.3	1.4	1.6	1.8	2.8	1.3	1.5	1.6
GDPデフレーター	▲0.1	▲0.1	▲0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	1.4	0.0	0.3	0.4
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.5	▲0.3	0.2	0.5	0.8	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	0.0	▲0.3	0.8	1.1
鉱工業生産	0.4	2.1	6.0	3.9	2.9	0.9	1.5	1.1	0.8	0.5	1.0	▲1.0	1.7	2.3	0.8

完全失業率 (%)	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	3.3	3.1	3.0	2.9
経常収支 (兆円)	5.84	4.25	6.13	4.10	5.62	3.47	6.28	4.40	6.20	4.01	6.70	18.00	20.82	19.47	21.31
対名目GDP比 (%)	4.5	3.0	4.5	3.0	4.2	2.4	4.6	3.2	4.6	2.8	4.8	3.4	3.9	3.6	3.8
円ドル相場 (円/ドル)	102	109	114	113	114	115	115	116	116	117	117	120	108	114	117
原油輸入価格 (ドル/バレル)	46	46	56	54	57	59	60	61	62	63	64	49	47	58	63

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注)2017年3月1日公表の2016年10~12月期2次QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2016年	2017年	2018年
	(実績)	(予測)	
米国	1.6	2.6	2.8
ユーロ圏	1.7	1.5	1.6
中国	6.7	6.5	6.4

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2016年度	2017年度	2018年度
	(予測)		
12月号	1.0	0.9	1.0
1月号	1.2	0.9	1.0
2月号	1.2	0.9	1.0

物価は上昇局面へ、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は上昇局面へ

1月のコアCPIは、前年比+0.1%と11カ月ぶりにマイナス圏から脱却。エネルギー価格の下落幅縮小や食料品価格の上昇が主因。今後は、資源価格の持ち直しや円安などにより、上昇ペースが高まる見通し。ちなみに、エネルギー価格の上振れと円安は、2017年度のコアCPI上昇率をそれぞれ+0.1%ポイント強、+0.2%ポイント押し上げる見込み。もっとも、国内景気や賃金上昇に弾みがかないと見込まれるなか、コアCPIの騰勢は日銀の目標を下回るペースにとどまる見通し。

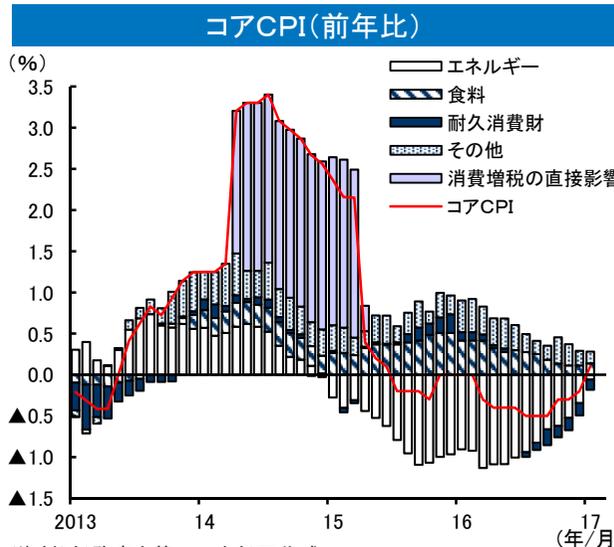
◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、1月30、31日の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。昨年9月に導入した新たな枠組みのもとで緩和策の影響・効果を見極める姿勢。

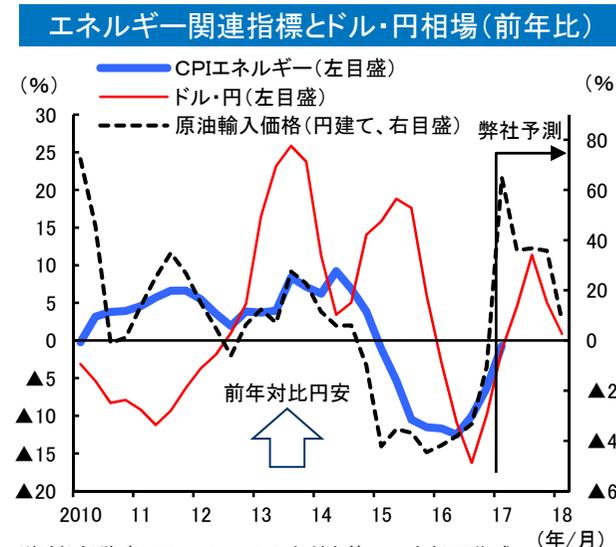
先行き、政策金利については、為替の円安基調が続くとみられるなか、当面は現行水準（▲0.1%）を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

一方、長期金利は、足許小幅プラス圏で推移するなか、米長期金利の上昇を背景に上振れ圧力が高まる見込み。もっとも、日銀によるイールドカーブ・コントロール政策のもとでの国債購入が、金利上昇圧力を吸収するため、大幅な金利上昇までには至らず、小幅プラス圏を中心にゼロ%近辺で推移する見通し。

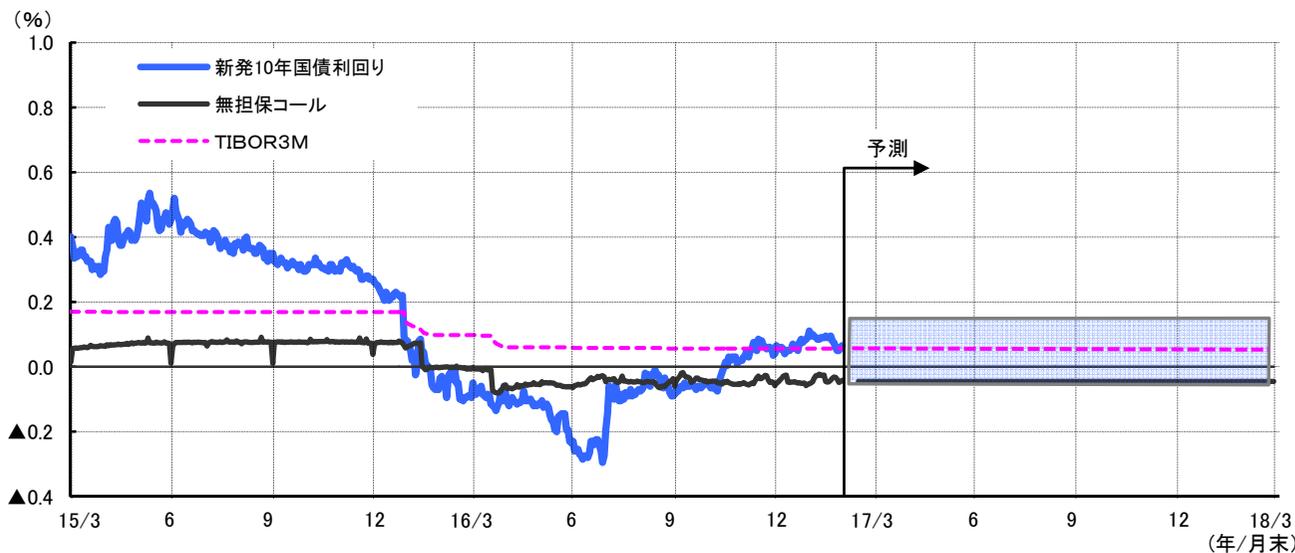


(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。



(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成
(注)CPIエネルギーの直近は2017年1月実績値。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利		ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63	
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80	
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93	
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81	
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72	
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85	
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80	
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66	
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59	
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53	
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40	
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35	
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20	
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02	
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00	
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88	
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79	
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64	
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45	
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35	
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26	
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16	
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58	
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83	
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76	
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67	
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68	
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55	
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55	
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60	
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51	
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23	
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22	
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18	
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16	
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01	
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09	
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07	
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05	
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04	
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24	
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29	
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35	
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32	